

## 令和5年度

### 江東区地域包括ケア全体会議

令和6年3月12日（火）午後1時30分  
江東区文化センター6階 第1～3会議室

#### 会議次第

##### I 委員委嘱

##### II 議題

- 1 部会からの報告
- 2 多職種連携・住民主体の取組報告
- 3 地域包括ケアシステムリーフレットの改訂について
- 4 令和4年度地域課題検討型地域ケア会議について
- 5 その他報告事項

#### 配布資料

- 資料1 各部会報告
- 資料2 多職種連携・住民主体の取組事例
- 資料3 令和5年度地域包括ケアシステムリーフレットの改訂について
- 別紙1 地域包括ケアシステムが毎日を支えます リーフレット（案）
- 別紙2 地域包括ケアリーフレットへのご意見への回答
- 資料4 令和4年度地域課題検討型地域ケア会議実施報告概要

#### 参考

番号なし 江東区地域包括ケア全体会議 委員名簿

# 各部会報告

部 会	部会と取り扱う既存会議体等
在宅医療連携部会	江東区在宅医療連携推進会議、在宅医療多職種連携研修
認知症部会	認知症施策推進会議
障害児〈者〉の医療・福祉サービス部会	地域自立支援協議会 医療的ケア児支援連携会議 難病対策地域協議会
生活支援部会	下町支え合い会議、高齢者見守り連絡会、高齢者地域見守り連絡会
情報共有部会	I C T 準備協議会

# 在宅医療連携部会

会議	在宅医療連携推進会議							
内容 部会	在宅医療の取り組みを効果的に進めるため、関係機関・関係職種で在宅医療連携の推進策について検討を行う。							
参加者	■医師(サ ポート医、 かかりつけ 医等)	■歯科医師	■薬剤師	■医療ソ シャルワ ーカー	■看護師 (訪問看護 師)	■介護支援 専門員	■介護福祉 士(訪問・通 所)	□リハビリ 職
	□柔道整復 師	□社会福祉 協議会	□社会福祉 士	□管理栄養 士	■町会・自 治会、一般 区民	■民生・児 童委員	□NPO、地 域活動団体	■長寿サ ポートセン ター
課題	①在宅医療をすすめるための多職種連携のあり方 ②地域での在宅医療の体制づくり ③区民への周知・啓発							
行 った 取 組 令 和 5 年 度 に	開催日時：令和6年1月30日（火）13時30分～ ■在宅医療連携推進事業の実施報告と、在宅医療についての現状把握、課題共有 ■東京都在宅医療推進強化事業についての情報共有 ■在宅医療連携推進事業の進め方の検討及び意見交換 ■在宅療養ガイドブック改訂に関する意見交換							
令 和 6 年 度 以 降 の 取 組	①関係者間の連携・周知・人材育成 ・多職種連携に関する研修、訪問看護ステーション実習研修等の実施。 ・介護と医療の連絡票・連携シートの再周知 ・ホームページ等の積極的な活用 ②区民への周知・啓発 ・医療機関マップ・在宅療養ガイドブック周知・配布 ・区民シンポジウムの開催、区民学習会の充実							

# 認知症部会

議 会	認知症施策推進会議							
内 容	認知症の高齢者及びその家族が住み慣れた地域で安心して生活を継続していくために、認知症施策に係る課題及び解決策の検討を目的とする。							
参 加 者	■医師(サポート医、かかりつけ医等)	■歯科医師	■薬剤師	■医療ソーシャルワーカー	■看護師(訪問看護師)	■介護支援専門員	■訪問看護	□リハビリ職
課 題	認知症本人と家族を支える地域づくりの推進							
行 っ た 取 組 令和5年度に	<p>認知症施策推進会議（全2回）</p> <p>第1回 令和5年7月27日（木）</p> <p>【内容】 令和4年度の実績報告等</p> <p>第2回 令和6年2月21日（水）</p> <p>【内容】 令和5年度の認知症関連事業の実施状況報告（認知症サポーターの養成・チームオレンジの推進、もの忘れ予防健診等）</p> <p>認知症本人が活動する取り組みについて</p>							
の 取 組 令和6年度以降	<p>認知症に関する正しい知識と偏見を持たずに認知症の方やその家族と接する心構えを伝える認知症サポーター養成講座を継続して実施し、ステップアップ講座・チームオレンジの活動へ展開することにより、普及啓発と認知症本人の意思が尊重される地域づくりを推進する。</p> <p>また、もの忘れ予防健診の対象者を追加し、認知症の早期発見・早期対応の啓発をさらに進める。</p>							

# 障害児(者)の医療・福祉サービス部会

<b>会議</b>	地域自立支援協議会							
<b>内容部会</b>	国や都道府県・市区町村の機関やサービス提供事業者等の関係者が、障害者に関する福祉・就労・保健医療等といった分野のサービスを総合的に調整するとともに、地域で生活する障害者を支えるネットワークを構築し、障害の有無に関わらず、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進することを目的とした協議会							
<b>参加者</b>	<input type="checkbox"/> 医師(サポート医、かかりつけ医等)	<input type="checkbox"/> 歯科医師	<input type="checkbox"/> 薬剤師	<input type="checkbox"/> 医療ソーシャルワーカー	<input type="checkbox"/> 看護師(訪問看護師)	<input type="checkbox"/> 介護支援専門員	<input type="checkbox"/> 訪問看護	<input type="checkbox"/> リハビリ職
	<input type="checkbox"/> 柔道整復師	<input checked="" type="checkbox"/> 社会福祉協議会	<input type="checkbox"/> 社会福祉士	<input type="checkbox"/> 管理栄養士	<input type="checkbox"/> 町会・自治会、一般区民	<input type="checkbox"/> 民生・児童委員	<input checked="" type="checkbox"/> NPO、地域活動団体	<input type="checkbox"/> 長寿サポートセンター
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画相談支援事業者の支援</li> <li>・ 関係機関の連携による地域で支える体制の強化</li> <li>・ 基幹相談支援センターの機能等の検討 等</li> </ul>							
<b>令和5年度に行った取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画相談事業者支援の機能充実及び地域ネットワークを強化するための、地域における支援体制の検討。</li> <li>・ 協議会の各専門部会における令和5年度の課題と取組の報告。</li> <li>・ 基幹相談支援センターについて、地域自立支援協議会の下部組織である専門部会のメンバーを中心とした検討WGの設置、機能や運営体制等の検討。</li> </ul>							
<b>令和6年度以降の取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画相談事業者支援の機能充実及び地域ネットワークを強化するため、地域における支援体制の検討を行う。</li> <li>・ 各専門部会で集約した地域課題の情報共有及び解決策の検討を行う。</li> <li>・ 基幹相談支援センターの機能等の検討を引き続き進める。</li> </ul>							

# 障害児(者)の医療・福祉サービス部会

会議	医療的ケア児支援連携会議							
内容 部会	医療的ケア児に対する支援、相談体制等について必要な措置を講じるとともに、関係機関及び民間団体と医療的ケア児支援に資する情報の共有を図る							
参加者	■医師(サ ポート医、 かかりつけ 医等)	■歯科医師	□薬剤師	■医療ソ シャルワ ーカー	■看護師 (訪問看護 師)	□介護支援 専門員	■介護福祉 士(訪問・通 所)	■リハビリ 職
	□柔道整復 師	□社会福祉 協議会	□社会福祉 士	□管理栄養 士	□町会・自 治会、一般 区民	□民生・児 童委員	□NPO、地 域活動団体	□長寿サ ポートセン ター
課題	①保護者の負担軽減 ②関係機関の連携や情報共有							
令和5年度に 行った取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療、福祉、子育て、教育など、各分野における支援に関する情報を一元化したガイドブックの作成。</li> <li>・医療的ケア児対応事業所の拡充を目的とした講演会の実施。</li> </ul>							
令和6年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児とその家族の孤立防止・育児不安の軽減を目的とする家族交流会の開催。</li> </ul>							

# 障害児(者)の医療・福祉サービス部会

会議	難病対策地域協議会							
内容 部会	令和6年1月10日(水)開催 難病対策事業の報告及び情報交換 その他							
参加者	■医師(サ ポート医、 かかりつけ 医等)	■歯科医師	■薬剤師	□医療ソ シアルワ ーカー	■看護師 (訪問看護 師)	■介護支援 専門員	□介護福祉 士(訪問・通 所)	□リハビリ 職
	□柔道整復 師	□社会福祉 協議会	□社会福祉 士	□管理栄養 士	□町会・自 治会、一般 区民	□民生・児 童委員	■NPO、地 域活動団体	■長寿サ ポートセン ター
課題	①難病患者の個々の療養・生活に応じた支援 ②難病患者が利用できる制度・サービスの周知							
行 った 取 組 令 和 5 年 度 に	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難病医療費助成申請時の面接で個々の療養・生活状況の確認、利用できる制度の周知</li> <li>・「難病事業のご案内」を改訂し令和6年4月から開始となる「登録者証発行事業」について追記</li> <li>・災害時の備えとして、災害時個別支援計画の策定や自家発電装置等給付事業の推進</li> <li>・専門医や医師会、歯科医師会、薬剤師会その他、看護、介護、東京都の担当者やハローワーク、患者代表など多岐にわたった関係機関による意見交換</li> </ul>							
令 和 6 年 度 以 降 の 取 組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難病医療費助成申請時の面接で個々の療養・生活状況の確認、利用できる制度の周知</li> <li>・改定した「難病事業のご案内」を配布し、「登録者証発行事業」を周知</li> <li>・災害時の備えとして、災害時個別支援計画の策定や自家発電装置等給付事業の推進</li> <li>・専門医や医師会、歯科医師会、薬剤師会その他、看護、介護、東京都の担当者やハローワーク、患者代表など多岐にわたった関係機関による意見交換</li> </ul>							

# 生活支援部会

<b>会議</b>	下町支え合い会議、高齢者見守り連絡会、高齢者地域見守り連絡会							
<b>内容</b>	・「下町支え合い会議」は、多様な関係主体間の情報共有及び連携推進を図るため、令和6年1月31日に開催した。 ・「高齢者見守り連絡会」は年1回開催予定、「高齢者地域見守り連絡会」は全8回、地域毎に実施した。							
<b>参加者</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 医師(サポート医、かかりつけ医等)	<input type="checkbox"/> 歯科医師	<input type="checkbox"/> 薬剤師	<input type="checkbox"/> 医療ソーシャルワーカー	<input type="checkbox"/> 看護師(訪問看護師)	<input checked="" type="checkbox"/> 介護支援専門員	<input type="checkbox"/> 訪問看護	<input type="checkbox"/> リハビリ職
<b>課題</b>	①高齢者の活動の場やきっかけづくり ②地域の多様な主体が助け合い活動を行っていくための機運醸成							
<b>行った取組</b>	令和5年度に ①「シニア世代地域活動あと押しセミナー」において地域活動の説明・相談会を実施した。地域を支える担い手による活動事例を紹介し、受講生への多様なきっかけづくりを図った。 ②「高齢者生活支援体制整備事業」において、3名の2層生活支援コーディネーターを配置し、地域における一体的な生活支援等サービスの提供体制の整備を推進した。							
<b>令和6年度以降の取組</b>	①開催回数を拡充し、ボランティアや就労など様々なテーマから地域活動への動機づけを行い、シニア世代の活躍支援に取り組む。 ②社会福祉協議会のサテライトを中心に2層体制の構築を推進する。							



# 情報共有部会

会議	I C T 準備協議会							
内容部会	地域の医療・介護関係者間の I C T を活用した患者情報の共有について							
参加者	■医師(サポート医、かかりつけ医等)	■歯科医師	■薬剤師	□医療ソーシャルワーカー	■看護師(訪問看護師)	■介護支援専門員	■訪問看護	□リハビリ職
	□柔道整復師	□社会福祉協議会	□社会福祉士	□管理栄養士	□町会・自治会、一般区民	□民生・児童委員	□NPO、地域活動団体	■長寿サポートセンター
課題	I C T を利活用した情報共有について							
行った取組 令和5年度に	<p>令和6年1月30日(火) 令和5年度 I C T 準備協議会開催</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他区におけるM C S の利用状況に関する報告</li> <li>・区内医療機関及び介護事業所等におけるM C S の利用状況に関する意見交換</li> </ul>							
令和6年度以降の取組	<p>今後の I C T ツールの活用に向けて、他自治体の取組状況や個人情報の取扱いに関する動向等を関係者と情報共有しながら、区内の取り組みについて検討を進める。</p>							

# ◆多職種連携の取組事例

# ◆住民主体の取組事例

多職種連携の取組

事例

事例 1 大島西長寿サポートセンター

住民主体の取組

事例

事例 1 地域福祉コーディネーター活動報告

事例 2 江東区助け合い活動連絡会通信

## 多職種連携の取組

### 事例 1

## 大島西長寿サポートセンター (主任介護支援専門員)

地域のケアマネジャーのスキルアップ、関係機関、多職種との連携体制構築を目的とした研修会、交流会を開催

### これまでの活動経過と現状

- 各長寿サポートセンターが主催し、ケアマネジメントの質の向上に資するテーマを選定。地域のケアマネジャーを対象に年度1回以上の研修会を開催している。
- 今年度、大島西長寿サポートセンターでは、「年齢を理由に障害福祉サービスから介護保険制度に移行する際のケアマネジメント」をテーマとして研修会を令和5年12月20日に開催した。
- 新型コロナウイルス感染症の流行により数年にわたり開催できなかった交流会を、障害福祉サービス担当者を交えて令和6年3月15日に開催する予定。

活動目的: 地域のケアマネジャーのスキルアップと、関係機関、多職種との連携体制の構築

### 過去の研修テーマ

#### 講義形式

- ・自立支援型ケアマネジメントの考え方について
- ・情報収集から課題分析までの過程について
- ・ケアマネジメントプロセスにおけるサービス担当者会議の役割

#### 事例検討

- ・医療機関との連携が必要なケース
- ・本人、家族とも判断能力が低下しているケース 等

### アンケートの結果と見込まれる成果

- 年末に近い時期の開催でもあったため、参加者は例年よりも少なめではあったが、「実際に年齢到達により障害福祉サービスから介護保険への移行が必要なケースを担当しており困っている」「まったく身寄りのない方の判断能力が低下しており対応に困っている」など、ケアマネジャーの具体的な困りごとを把握することができた。
- これらの困りごとをケアマネジャーがひとりで解決することは困難である。多職種との連携体制の構築が急務であると感じた。

研修会、交流会の定期開催により、実務にあたるケアマネジャーの役に立つ

### 地域包括ケアシステムの推進に向けて

ケアマネジャーの業務として、高齢者本人に対するケアマネジメントに加え、ひきこもりや障害など同居する家族が抱える問題に対する支援などの対応も求められるようになってきている。ひとりで業務を行う居宅介護支援事業所も多く、それらの問題に対してケアマネジャーがひとりで立ち向かうことは大変困難なことである。利用者、家族から頼られるケアマネジャーにも頼れる場所があることを広く知ってもらうことを目標に、ひとりで業務を行うケアマネジャーをひとりにさせないことを目標に、多職種のネットワークを広げていきたいと考えている。

# 住民主体の取組

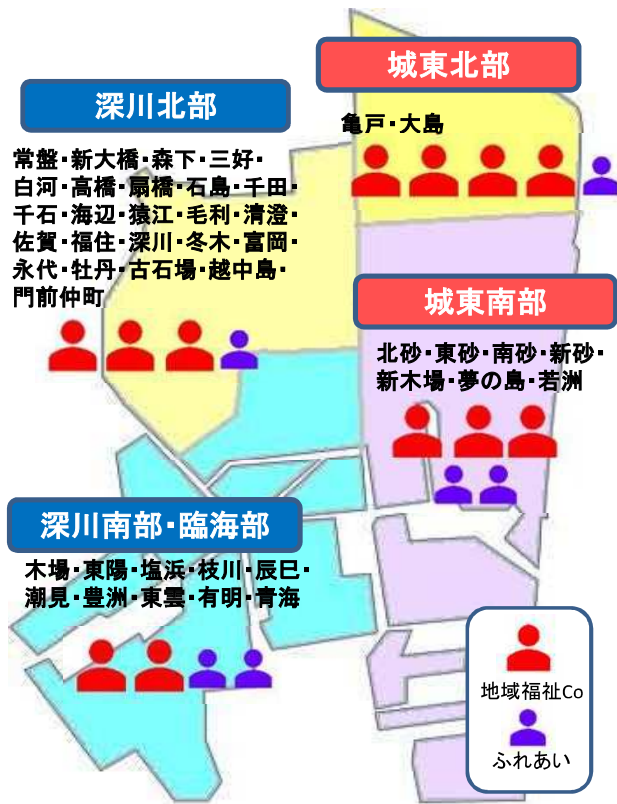
## 事例 1

# 地域福祉コーディネーター活動報告

社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター

地域の中での困りごと等の課題解決に向けた住民活動を支援をすることを目的に、区内5地域に12名(育児休業中2名)の地域福祉コーディネーターを配置し、高齢者地域見守り支援事業、小地域福祉活動事業、ふれあい・いきいきサロン活動支援、生活支援コーディネーター事業を兼務して、地域課題の把握、相談、支援を行っています。

### 地域福祉コーディネーターの設置状況



### サテライト城東北部・城東南部の開設

地域福祉コーディネーターが活動する新たな地域拠点として、サテライト城東北部(R5.7.3)、サテライト城東南部(R6.2.15)が開設されました。

地域の中に拠点を置いて活動することにより、表に見えづらいさまざまな困りごとにも迅速に対応し、必要な支援につなげるとともに、地域の支え合いの力で、困りごとを解決する仕組みづくりに取り組みます。また、自助・互助を後押しするような福祉サービスの提供も行います。

#### <主な取り組み>

- ◆地域住民の方々の身近な相談窓口
- ◆地域福祉コーディネーターによるアウトリーチ活動(地域づくり支援・個別困難世帯支援)
- ◆小地域福祉活動事業
- ◆ふれあい・いきいきサロン 立ち上げ・活動支援
- ◆ホームヘルプサービス(ふれあいサービス)
- ◆車いすの貸出
- ◆愛の杖の給付



サテライト城東北部  
(大島8-28-5)

### 社協カフェ みんなの居場所

地域福祉コーディネーターの活動拠点として開催し、地域情報の収集、地域課題の発見、福祉相談などに取り組んでいます。区内4か所で2か月に1回開催するほか、今年度からは新たな場所でも随時開催しています。

運営にあたっては地域ボランティアと協力し、住民同士がつながる場としての充実を図っています。

### さまざまな関係機関との連携

地域福祉コーディネーターは、地域のさまざまな関係機関と連携し活動しています。

- ◆JKK東京(トミンハイム古石場等でのイベント協力、近隣住民による集会所活用のマッチング)
- ◆UR都市機構(UR亀戸二丁目団地でのイベント協力)

ほか

助け合いのまちづくりを進めよう！

## 江東区助け合い活動連絡会通信 No.22

発行：江東区助け合い活動連絡会 発行日：2023年9月21日

連絡先：江東区社会福祉協議会 地域福祉推進課（電話 03-3640-1200）

今年の夏は猛暑が続き大変でしたが、ようやく秋の訪れを感じる季節になりました。皆様お変わりなくお過ごしのことと思います。社協だより 231号（9/5発行号）でご案内のように、江東社協が地域福祉活動の更なる強化、より身近な社協を目指してリニューアルされました。社協の新たなチャレンジに応え、地域での助け合い、支え合い活動に取り組んでいきましょう。以下、6月以降の連絡会の主な活動の報告と当面の活動計画のご案内です。ご一読ください。

助け合いのまちづくりを進めよう

### 助け合い活動連絡会 第1回定例連絡会の報告

6月29日（木）に高齢者総合福祉センターで連絡会の2023年度第1回定例連絡会を開催し、会員関係者30人が参加しました。開会の挨拶で、この6月に江東区社会福祉協議会の会長に就任した渡辺恵司連絡会代表が会長就任にあたっての決意を表明しました。

続いて、事務局から連絡会の活動報告として2023年度（第7回）総会、グランドゴルフ in 大島、砂町よっちゃん家の花壇植替えなどの報告を行い、社協の新居総務課長が「社協第5次地域福祉活動計画の策定」「まちづくり話し合いひろば」の経過報告、古川地域福祉推進課長が社協の地域拠点「城東北部サテライト」開設の報告、清掃リサイクル課の田中係長が10月からの「プラスチックの日」スタートの案内をしました。

最後に、江東区生ごみお宝倶楽部、砂町よっちゃん家、おあしす福祉会、コープ南砂助け合いの会、防災を考える会など参加団体が活動紹介を行い、閉会しました。

### 連絡会 第15回研究会の報告

#### <テーマ> ヤングケアラー問題を考える



7月25日（火）、江東区文化センターで連絡会の第15回研究会（テーマ：ヤングケアラー問題を考える）を開催し、37人が参加しました。講師は一般社団法人ヤングケアラー協会事務局長の小林鮎奈さん。小林さんは8歳の頃に母親が心の病を患い、悩みながらケアしてきた元ヤングケアラーで、「当事者の人生から考える支援のあり方」と題した講演で自身の小・中・高時代から社会人までの体験を含めお話してくれました。当事者の講演に参加者は圧倒されましたが、「ヤングケアラーに一律の有効な支援方法はなく、ヤングケアラーの置かれた状況の多様さを理解し、ライフステージの変化に応じて対応する」ことの大切さなど多くのことを学びました。

研究会には東京都福祉局家庭支援課の山縣さんも参加し「東京都ヤングケアラー支援マニュアル」を紹介、資料として「江東区ヤングケアラー実態調査報告書 概要版」が配布されました。質疑応答の後、連絡会の吉野副代表が「地域の力、地域の大人が専門的でなくとも話を聞く力が大切と痛感した」とまとめの挨拶をして閉会しました。



### 富賀岡八幡宮 越前スイセン植替えの報告

9月2日（土）午前中、南砂線路公園の環境を守る会の呼びかけで富賀岡八幡宮（元八幡）境内の越前スイセン植替えを行いました。作業には助け合い活動連絡会、江東区生ごみお宝倶楽部、元

八幡関係者など 26 人が参加しました。最初に参加者を紹介、元八幡宮司の新井さんからご挨拶をいただき、参加者を 4 グループに分けて境内 3 区画の①球根の掘り起こし・球根の分球、②倍用土・肥料入れ、整地、③球根の植付け・水やりを行いました。厳しい残暑の中、途中で宮司さん提供のお茶で休憩をとりながらの 2 時間ほどの作業でした。



植替えた越前スイセンは 12 月には花が咲き始め、参拝者が多い年始には満開になりますので、機会をみて出かけ、ご覧になってください。

(補註)スイセンの球根は数年毎に分球・植替えが必要で、前は区文化観光課からの要請で 7 年前の 2016 年 9 月に地域の

緑のボランティア活動団体で実施、この 3 年間はコロナ禍で植替えを見送ってきました。

### 第 9 回江東区地域福祉フォーラムのご案内 〈テーマ〉 江東区 地域福祉活動の課題を探る

下記にて江東区助け合い活動連絡会・江東区・江東区堺福祉協議会共催の第 9 回江東区地域福祉フォーラムを開催します。今年のテーマは「江東区 地域福祉活動の課題を探る」で、講師（基調講演）は江東区社会福祉協議会の地域福祉活動計画策定委員会副会長を務め、この間、第 5 次地域福祉活動計画策定に向けた「まちづくり話し合いひろば」に出席していただいている岡田哲郎先生（高崎健康福祉大学講師）で、当日は区内 4 ブロックでのまちづくり話し合いひろばで出された地域福祉活動の課題について提案していただき、グループワークを行います。

今年のフォーラムには木村区長が挨拶に駆けつける予定です。皆様、ご参加ください。

〈日時〉2023 年 11 月 1 日（水）14:30～16:30 〈会場〉江東区文化センター 3 階レクホール

〈内容〉基調講演・質疑応答・グループワーク 〈定員〉100 人（先着申込順／参加費無料）

参加申し込みは社協地域福祉推進課（電話 03-3640-1200 FAX03-3699-6266）まで。

### 内閣官房 孤独・孤立対策地域連携推進モデル事業 江東区が第二次取り組み団体に決定！

内閣官房 孤独・孤立対策室が 7 月に二次募集した「孤独・孤立対策に関する推進モデル調査事業」（令和 5 年度地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業）の審査の結果、江東区が取組団体に採択されました。本事業では住民に身近な地方公共団体において①官民連携プラットフォームのモデル構築、②孤独・孤立に関する普及活動、③支援団体間の連携による試行的事業、④当該地域における孤独・孤立の状況把握、⑤地域における担い手の把握・見える化、⑥人材確保・育成を目指す研修実施などが実施されます。今回の二次募集で採択された市区町村は江東区・品川区・登別市など 5 団体で、昨年度は 17 団体が採択されています。

江東区での取り組みは江東区（担当課：福祉部長寿応援課）・社会福祉協議会・助け合い活動連絡会・江東社会福祉士会などが連携し、官民連携のプラットフォーム設立、孤独・孤立対策に関する講演会やパネルディスカッションの開催、リーフレットの作成、配布など、江東区における孤独・孤立対策支援策の周知を行う予定です。

※本事業の取り組みに関心のある町会・自治会、NPO 法人や地域活動団体はご連絡ください。

### 助け合い活動連絡会 第 3 回定例連絡会のご案内

下記にて連絡会の第 3 回定例連絡会を開催します。年内最後の会合です。皆様ご参加ください。

〈日時〉12 月 8 日（金）13:30～15:00 〈会場〉江東区文化センター ホール棟 2 階 展示室

〈内容〉連絡会の活動報告、江東区・社協からの情報提供、参加団体からの活動報告ほか

以上

助け合いのまちづくりを進めよう！  
**江東区助け合い活動連絡会通信 No.23**

発行：江東区助け合い活動連絡会 発行日：2024年1月10日  
連絡先：江東区社会福祉協議会 地域福祉推進課（電話 03-3640-1200）

**謹賀新年** 皆様、お元気に新年をお迎えのことと思います。年明け早々の一日夕方、石川県能登地方を震源とする大地震が発生、輪島市、珠洲市など各地で家屋の倒壊や火災などが相次ぎ、懸命の救助・復旧活動が行われ、全国から支援が寄せられています。災害時には“助け合い”が欠かせません。本年も区・社協の事業と連携し、高齢者など地域の住民が安全・安心に暮らしていくことができる助け合い活動の普及に取り組んでいきますので、皆様のご協力をお願いいたします。

～江東区 地域福祉活動の課題を探る～  
**第9回江東区地域福祉フォーラムの報告**

江東区地域福祉フォーラムは、助け合い活動連絡会・江東区・江東区社会福祉協議会の共催で毎年秋に開催しています。9回目を迎えた今回は11月1日（水）に江東区文化センターで「江東区地域福祉活動の課題を探る」をテーマに開催し、86人が参加、基調講演と2人の研究者によるコメント、グループワークを行いました。



最初に連絡会の渡辺代表、江東区の武越副区長が開会の挨拶。基調講演は高崎健康福祉大学の岡田哲郎氏（江東区地域福祉活動計画策定委員会副委員長）で、区内4ブロック計12回開催された「まちづくり話し合いひろば」を踏まえた江東区の地域福祉の課題について講演していただきました。コメンテーターは東京通信大学の坂本美枝氏（人間福祉学部）と高橋玲氏（情報マネジメント学部）で、専門分野の視点から課題を提起しました。



休憩の後、グループワークは8グループに分かれて行い、各グループで出された課題・解決策についてそれぞれ報告してもらい、講師が総評を行い閉会しました。参加者アンケートでは、地域づくりの視点を広げる内容で考え方を見直すきっかけや今後の活動のヒントが見つかったなどのご意見が寄せられました。

**江東区子育て支援施策に携わる関係団体調査  
アンケート調査・ヒアリングの報告**

江東区では来年度に「こども・子育て支援事業計画」の次期計画の策定を予定していて、これに先立つ基礎調査として昨年11月から子育て支援施策に携わる関係団体を対象にしたアンケート調査とヒアリングを実施中です。助け合い活動連絡会のヒアリングは12月6日（水）にコープ南砂管理事務室で行われ、渡辺代表と小林事務局長が対応しました。また、12/5に砂町よっちゃん家でヒアリング調査が行われました。担当課はこども未来部こども家庭支援課です。こどもは社会の宝、江東区版“こども未来戦略”の策定が期待されます。

**助け合い活動連絡会 第3回定例連絡会の報告**

12月8日（金）に江東区文化センター ホール棟展示室で第3回定例連絡会を開催し31人が参加しました。渡辺代表の開会挨拶に続いて、小林事務局長が連絡会の活動報告を行いました。

区からの報告として長寿応援課の伊藤課長が「孤独・孤立対策に関する地域連携推進モデル調査

事業（本年度実施内容の検討状況）について、今年度は課題の把握・資源の共有・関係者のネットワーク化・団体間の連携強化による地域活動の活発化など孤独・孤立対策の推進体制の整備、講演会の開催や区ホームページでの広報など区民への周知に取り組むと報告しました。関連して今回初めて参加した芝浦工大産学官連携コーディネーターの高島さん、在宅医療に取り組む江東区医師の太田医師が自己紹介を行いました。



#### 助け合い活動連絡会第3回定例連絡会

続いて、参加団体からの活動紹介で砂町よっちゃん家・コープ南砂助け合いの会・カフェ06・看取りステーション東京ひかり・NPO法人エンリッチから取り組みを紹介してもらいました。

最後に吉野副代表が「個人の尊厳を大切に、孤独・孤立のない地域をつくる、地域の繋がりをつくることは難しい時代になっているが、連絡会の目標でもあるので、今後も活動を広め、人材育成に取り組んでいきましょう」とまとめて閉会しました。

社協からは新居総務課長が「第5次地域福祉活動計画」策定に関する報告を行い、素案は新年の1月22日のまちづくり話し合い広場で報告・検討していただくとの案内がありました。

社協からは新居総務課長が「第5次地域福祉活動計画」策定に関する報告を行い、素案は新年の1月22日のまちづくり話し合い広場で報告・検討していただくとの案内がありました。

### まちづくり話し合いひろば（出会い・学びの場） 全地域交流会に参加しよう

下記にて、まちづくり話し合いひろば（全地域交流会）が開催されます。当日は社協の「第5次地域福祉活動計画」（素案）も紹介されます。皆様ご参加ください。

<日時>2024年1月22日（月）13:30～15:00 <会場>高齢者総合福祉センター3階研修室

<内容>○全地域の交流会（情報交換）○第5次地域福祉活動計画（素案）の報告

<申込>江東区社会福祉協議会 地域福祉推進課（Tel:3640-1200 FAX:3699-6266）

### 孤独・孤立を考える講演会のご案内

年末の12月27日に第1回孤独・孤立対策連携会議が開催され、下記にて孤独・孤立問題を考える講演会を開催することになりました。地域での孤独孤立に関わる様々な問題に向き合い、必要の人に適切な支援や情報を提供できるようにするため、関心のある方はご参加ください。

<日時>2月6日（火）19:00～21:00 <会場>総合区民センター レクホール（西大島）

<講師>駒村康平慶應大学教授（孤独・孤立重点計画策定委員）／高橋良太全国社会福祉協議会生活支援部長（孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム準備会メンバー）

<申込>江東区社会福祉協議会 地域福祉推進課（Tel:3640-1200 FAX:3699-6266）

### 助け合い活動連絡会 第4回定例連絡会のご案内

下記にて助け合い活動連絡会の第4回定例連絡会を開催します。当日は来年度の活動計画の検討を予定しています。皆様、年度末のご多忙のところとは思いますが、ご参加ください。

<日時>2024年3月15日（金）13:30～15:00 <会場>高齢者総合福祉センター3階研修室

<内容>①連絡会の活動報告 ②区・社協からの情報提供 ③2024年度活動計画案について

全国にある「子ども食堂」の数が今年度9,131か所に増えて、総数は全国の公立中学校数とほぼ並んだという。新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、地域のつながりを取り戻そうとする意識の高まりが後押しになっているようだ。地域の支援の広がりも素晴らしいこと▼と同時に、全国の年間延べ利用者数は1,584万人、うち1,091万人が子どもと推計されていて、「子どもの貧困」がより深刻になっている現れと思う。本年も地域での子育て支援に奮闘していきましょう（小林）